



国労東海

国鉄労働組合
東海エリア本部
東京港区新橋5・15・5
交通ビル4階
発行責任者 杉本洋一
編集責任者 小山謙一

「ベア1万5千円」獲得で生活改善へ

JR東海へ17項目の要求を申入れて交渉



(上) 東海本部第34回委員会で発言する委員
(下) 杉本委員長による「団結がんばろう」

国労東海本部は、JR東海、ジェイアール東海バス、貨物東海支社に対して一斉に15春闘の要求書を提出しました。

要求の柱となるベースアップは、JR各社の平均賃金から出した額に物価上昇分3%と生活改善分2%をかけた額の1万5千円としました。各会社とはすでに交渉に入っています。(詳細は交渉情報参照)

昨年の消費税増税や社会保障費の改悪、円安によって相次ぐ生活必需品の値上げ、これらは私たちの懐を冷やさせ、国内景気をさらに悪化させるものです。毎年、国労本部が行っている

家計簿調査でも平均で3万円を超える赤字があると組合員から寄せられています。

安倍首相は、アベノミクスで経済の好循環が生まれてきていると言っています。しかし、アベノミクスは大企業や一部投資家を潤わせただけで格差をより深刻なものにしています。

また、「残業代ゼロ」や派遣法の改悪を政府が行おうとし、更には戦後、日本が守り続けてきた平和な日本が戦争のできる国へと変貌させられようとする中での春闘です。

今年こそすべての会社でベースアップを勝ち取り、生活改善

を実現させ、職場要求も実現させようと各地本や支部・分会でも15春闘の取り組みが始まっています。

国労東海本部は、職場の闘いと交渉を連動させ大きな成果をあげようと組合員に訴えています。

貨物会社、バス会社にも要求提出して改善を迫る

「契約社員及び臨時雇用員についても社員に準じて引上げること」「定期昇給を完全実施すること」等の8項目で申し入れました。

貨物会社への申入れでは、この間の期末手当の低額回答とともに15春闘の前にして手当削減を提案するなど、鉄道事業の赤字を社員に一方的に押し付ける状況は、「再び負の連鎖を生む」と強く警告した上で、「賃金と生活実態アンケート調査(東海貨物版)」を基にして、「赤字がある」組合員が67%、赤字の平均額も3万6000円を超え昨年よりも赤字額が増加するなど厳しい生活実態を示し、「社員の生活への不安」を払拭する

ジェイアール東海バス会社には2月12日、「賃金や福利厚生職の改善、魅力ある仕事、明るい職場をつくること、バス業界の過当競争、労働者の低賃金に支えられたバス運行からの脱却する確かな道である」として、ベア要求については、「新賃金・ベア1万5千円」「契約社員・臨時社員の賃金を社員と同様に引上げること」等の7項目、夏季手当については、「基準内賃金の3・2カ月」等の4項目を提出しました。

お年玉クイズ当選者
第34回東海本部委員会で正解者33人から抽選。(順不同、敬称略)

藤田 浩一	大阪第一修繕車両所
中尾タミ子	大阪新幹線地区本部
田中 悟	大垣運輸区
岩田 朋之	名古屋工場分会
神戸みさお	名古屋地方本部

入院、地震、火災、交通事故…一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。何事も備えあれば憂いなし。あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、しっかり組み合わせることで幅広く保障します。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

東海労働組合本部

署名・宣伝等の行動ではな返そう



新たな賃金削減を提案



静岡地本が行った宣伝行動では、ビラを受け取る反応が良く、声かけにもきちんと応えてくれた

貨物会社は、手当の見直しと称した労働条件の切り下げを賃上げの交渉を行う春闘を前にして提案してきました。その内容は、「都市手当、地域手当の級地保障」、「祝日等勤務手当」、「乗務旅費の日当」について見直すとしていますが、すべて廃止で新たな賃金削減を社員に押し付けたものです。この一方的な不利益変更に対して静岡・名古屋の両地本は反対署名をはじめとして、多くの社員や家族に問題点を訴えようという行動を起こしています。

名古屋地本では2月9日に社宅に対して手当削減反対のビラ配布を行い、静岡地本では2月16日に静岡総合鉄道部前で宣伝行動を行いました。また、国労東海本部と東海貨物協は、2月16日に貨物東海社に15春闘申入れを行い、申入れ内容に手当削減は大きな問題があることも加え、本社への働きかけを要請しました。交渉では、これらの労働条件の変更は、一方的な不利益変更にあたり違法行為であると強く主張し、貨物会社もその問題点を認め、代替措置の検討を行うと見解を示しました。しかし、その内容は明らかに納得いかないなど問題も多く、ベアの獲得と合わせた闘いが重要になっていきます。

新幹線地本は2月7日、東京・大崎の南部労政会館で「第13回新幹線地方本部拡大委員会」を開催しました。委員会では、春闘に向けた取組みの報告を中心に職場三大要求や組織拡大等での意見が出され、地本としての方針を確立するとともに15春闘での奮闘を確認しました。

統一行動や組織拡大へ全力

新幹線地本が拡大委員会を開く

委員会の冒頭で徳竹委員長は、「今春闘は組合の存在意義が問われている。3・11統一行動を全力で取組み、春闘勝利・惠政で改札でのマスク着用を要求。インフル対策で必要だ」、「専任社員の労働条件・賃金改善を目指したい」、「定昇通減問題はぜひ改善させたい」、「出向問題では本人希望を尊重させるべきだ」等の意見が出されました。深めながら組織拡大に奮闘したい」と決意を述べました。委員からは、「職場三大要求で改札でのマスク着用を要求。インフル対策で必要だ」、「専任社員の労働条件・賃金改善を目指したい」、「定昇通減問題はぜひ改善させたい」、「出向問題では本人希望を尊重させるべきだ」等の意見が出されました。

JALは自主的に解決せよ 最高裁が客乗・乗員にも不当の不当決定

2月12日、JAL不当解雇原告団や国民支援共闘会議をはじめとした支援団体と多くの支援者がJAL本社前行動を行い、国労東海本部も参加しました。JAL不当解雇撤回の闘いは、

昨年の東京高裁での不当判決を受け、最高裁へと上告していましたが、最高裁は、2月に入り客乗、乗員と相次いで不受理の決定を出しました。この不受理決定は、膨大な資料が提出されているにもかかわらず、短期間に出された不当と言わざるを得ないもので

また、企業の更生手続きの下では、労働者を解雇することができると決定づけた内容は、解雇4要件をまったく無視した許されないものです。

3月12日には、「アタック、JAL本社」と題してデモと本社前集会を行うことを決定しており、今まで以上に全国各地からJALを包囲する取り組みが求められています。



最高裁の不受理の決定に抗議するとともに一日も早く職場へ戻せと訴える東海本部・上野書記長

「生きる」を創る。Afiac

◆月払保険料(集団取扱) (2014年10月10日現在) 新生きるためのがん保険Days Aプラン 在: 入院給付金日額10,000円 定期タイプ 解約払戻金なしタイプ 保険料払込期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,450円	5,400円	8,920円	14,110円
女性	3,800円	5,370円	6,560円	8,050円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。 <募集代理店> アベニール株式会社 〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822 <引当保険会社> アフィア生命 東京第二法人営業部 〒163-0456 東京都新宿区新宿2-1-1 新宿三井ビル 当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き コールセンター 0120-5555-95

「がん」の保障 <<新生きるためのがん保険Days>>

保険期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢: 0歳~満85歳 Aプラン 入院給付金日額10,000円の場合

	がんの場合	一時金として	100万円
初めて診断確定されたとき	診断給付金	一時金として	10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外) 抗がん剤治療給付金	治療を受けた月ごと乳がん・前立腺がんのホルモン療法のととき治療を受けた月ごと	(給付倍率2倍) (更新後の保険期間を含め通算600万円まで)	5万円
※Aプランの場合、抗がん剤治療給付金をご希望により取り外すことができます。		(給付倍率1倍)	万円まで)
がん専門相談サービス プレミアサポート	訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)		